

第197号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2
新潟県公社総合ビル内

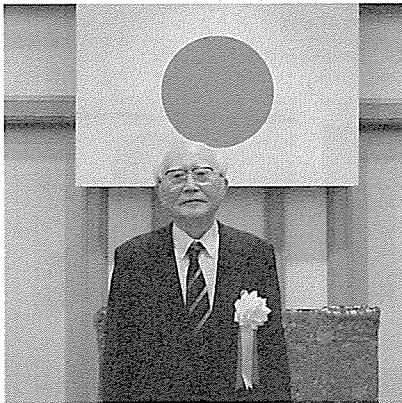
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

発行者 理事長 遠藤 幹夫
編集者 事務局長 山崎 俊雄

印刷 (株)ハイングラフ

平成28年度全国危険物安全大会が開催され
消防庁長官表彰・全危協理事長表彰式が行われました

平成28年度全国危険物安全大会が6月6日(月)東京都内「スクワール麹町」で開催され、全国の保安功労者や優良事業所に対して表彰が行われました。当協会からは、消防庁長官表彰及び一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰を次の方々、事業所が受賞されました。誠にめでたうございました。栄えある表彰は、受賞されました皆様の災害防止に対する不断の努力の賜物であり会員一同心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。



外山雅也 氏



橋詰 晃 氏 村山芳夫 氏

新潟県厚生農業協同組合連合会
佐渡総合病院

理事長 菊池正緒 氏

代理(病院長) 佐藤賢治 氏

(敬称略)

〔消防庁長官表彰〕

危険物保安功労者 外山雅也 (公財)新潟県危険物安全協会理事 (三 条)

〔(一財)全国危険物安全協会理事長表彰〕

危険物保安功労者 村山芳夫 (公財)新潟県危険物安全協会評議員 (十 日 町)

危険物保安功労者 橋詰 晃 (公財)新潟県危険物安全協会上越地区支会
上越南支部監事 (上 越)

優良危険物関係事業所 新潟県厚生農業協同組合連合会佐渡総合病院
代表理事理事長 菊池正緒 (佐 渡)

平成28年度優良事業所等表彰式を挙行

5月25日(水)新潟市において平成28年度関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰の伝達式及び平成28年度優良事業所等表彰式が新潟県知事(代理 信田直樹新潟県防災局消防課長)、土田克行新潟県消防長会会長(新潟市消防局長)ほか、関係者多数の御臨席のもと盛大に挙行されました。

保安管理体制が模範的で、危険物の安全管理等に顕著な功績があった個人・事業所の皆様が受賞されました。会員一同心からお祝い申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

◆ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰 ◆

〔個人〕

小林 純 男 (三市北蒲原)
庭 山 與 一 (三市北蒲原)

〔事業所〕

有限会社 大滝輪店 (村上・岩船)
JX石油開発 株式会社 中条油業所 (三市北蒲原)
敦井産業 株式会社 (新 潟)
山本石油 株式会社 (三 条)
有限会社 クマクラ商会 (加 茂)
株式会社 ニッカン (長 岡)
新潟商事開発 株式会社 (南 魚 沼)
えちご上越農業協同組合 新井給油所 (上 越)
高助 合名会社 妙高営業所 (上 越)
有限会社 伊井塗装店 (糸 魚 川)

財)新潟県危険物安全協会表彰式



遠藤理事長による表彰

◆ 公益財団法人新潟県危険物安全協会優良事業所等表彰 ◆

◎優良事業所

〔下越地区〕

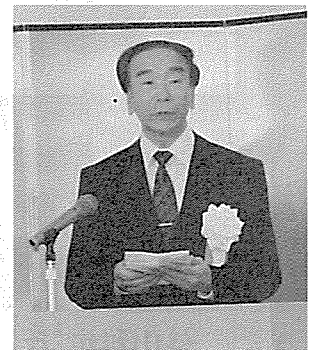
村上中越運送 株式会社 (村上・岩船)
磐梯貨物 株式会社 新潟営業所 (三市北蒲原)
新潟石油共同備蓄 株式会社 (三市北蒲原)
ローム・アンド・ハウス電子材料 株式会社 笹神工場 (三市北蒲原)
越後中央農業協同組合 (新 潟)
株式会社 トカン (新 潟)
有限会社 ワシダ塗料店 (新 潟)
五泉地域衛生施設組合 (五泉東蒲原)
株式会社 羽入田塗装店 (燕・弥彦)

〔中越地区〕

シマト工業 株式会社 (三 条)
太平興業 株式会社 三条支店 (三 条)
名新物産 有限会社 ゆきつばきステーション (加 茂)
株式会社 田辺建設 (長 岡)
緑水工業 株式会社 (長 岡)
有限会社 小林運輸工業 (長 岡)
有限会社 日乃出石油 (小 千 谷)
岡部組 合資会社 (魚 沼)
碓屋金物店 (十 日 町)
株式会社 ラポート十日町 (十 日 町)
株式会社 ライフスタイルサービス (南 魚 沼)
北越ペイント 株式会社 柏崎営業所 (柏 崎)



新潟県知事祝辞
(信田直樹新潟県防災局消防課長)



新潟県消防長会会長祝辞
(土田克行新潟市消防局長)

〔上越地区・佐渡地区〕

えちご上越農業協同組合 明治給油所 (上 越)
社会福祉法人 上越福祉会 かなやの里 (上 越)
有限会社 三和商事 (上 越)
株式会社 ゆったりの郷 (上 越)
株式会社 今井工務店 リッキーSS (糸 魚 川)

◎優良保安監督者

昭和シェル石油 株式会社 佐渡油槽所 高野 勝秀 (佐 渡)

◎製造所等以外の会員事業所

アルボオル工業 株式会社 (新 潟)
有限会社 岸富建装 (見 附)

(敬称略)

平成28年度臨時評議員会及び 第1回理事会が開催されました

～平成27年度事業報告・決算の承認、評議員、理事及び監事の選任ほか～

平成28年度臨時評議員会、平成28年度第1回理事会が5月25日(水)新潟市において開催されました。会議の冒頭に遠藤理事長から「皆様方には引き続き事故防止のための活動に今後とも積極的に取り組んでいただきたい。協会としても危険物施設での事故防止とそのため安全管理体制の確立、危険物取扱者の資質向上を促すための取組など危険物に関する安全の確保を引き続き進め、公益法人として、会員並びに県民の利益の増進につながるよう努めていく。」という挨拶がありました。

臨時評議員会では、辞任された3名の評議員の後任を選任した後、任期満了となる全理事及び監事の改選が行われました。その後、平成27年度事業報告及び決算状況の事務局説明と質疑応答を行いました。

第1回理事会では、決算関係議案の審議を行い、平成27年度事業報告・収支決算が承認可決されました。その後、この平成27年度収支決算を定時評議員会で承認可決していただくため、平成28年度定時評議員会の招集を決めていただきました。

平成27年度事業につきましては皆様のご協力をいただきまして、全事業を円滑に実施することができました。感謝申し上げます。平成28年度も平成27年度と同様に事業計画に沿って着実に事業を進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【臨時評議員会提案議案】

- 第1号議案 評議員の選任について
- 第2号議案 理事の選任について
- 第3号議案 監事の選任について
- 報告事項 平成27年度事業及び決算状況について報告

【第1回理事会提案議案】

- 第1号議案 平成27年度事業報告案の承認について
- 第2号議案 平成27年度収支決算案の承認について
- 第3号議案 平成28年度定時評議員会の招集について
- その他 平成28年度第2回理事会の開催について



遠藤理事長 挨拶



小方評議員会会長



評議員会、理事会

平成27年度決算が承認されました

5月25日に開催された平成28年度第1回理事会で承認された平成27年度決算関係議案が6月10日に開催された書面による平成28年度定時評議員会で承認されました。

これもちまして、平成27年度決算の承認手続き

が終了いたしました。

【定時評議員会提案議案】

第1号議案 平成27年度収支決算の承認について

新執行部がスタート

任期満了に伴い、5月25日に後任の理事が選任されていきました。新任の理事による代表理事及び理事長、副理事長の互選と専務理事（業務執行理事）を選定する平成28年度第2回理事会が定時評議員会最終後に書面により開催され、次とおり新執行部がスタートしました。

理事長	中西 一則	(新 潟)
副理事長	北原 和夫	(長 岡)
副理事長	渡部 陽	(上 越)
専務理事	山崎 俊雄	(事務局)

当協会ホームページの「情報公開」に事業報告、決算書等を掲載しましたのでご覧ください。

<http://niigatakiankyo.sakura.ne.jp>

賛助会員を募集しています

当協会は、消防法に基づく危険物に起因する災害の防止を図るため、危険物の安全管理体制の確立と危険物取扱者の資質向上を促進し、もって社会公共の安全に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。

公益財団法人として、危険物取扱者の養成を目的とした試験受験準備講習会などの公益目的事業を進めていくためには安定した経営基盤の確立が必要です。

当協会の設立目的に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員（企業、団体、個人）を募集しています。当協会の活動にご理解とご支援をいただき、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員としてお力添えをいただきますよう心からお願い申し上げます。

なお、申込方法等の詳細につきましては、当協会のホームページをご覧ください。

平成27年における危険物事故発生状況について

～自主保安体制の確立と腐食疲労等劣化対策の徹底を～

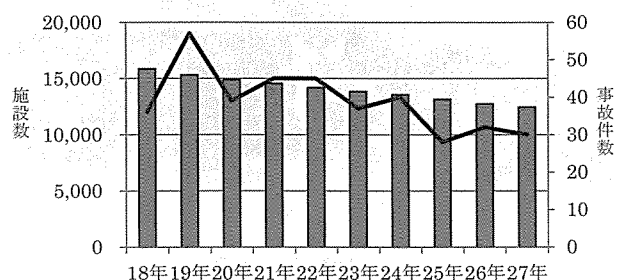
新潟県防災局消防課

平成27年に県内で発生した危険物に係る事故の概要を取りまとめました。3の「事故防止対策の推進」を参考として、事故防止に取り組んでください。

1 危険物施設数と事故発生件数の推移

県内の危険物施設数は年々減少しており、平成27年3月31日現在、12,459施設となっています。近年、事故件数は40件前後で横ばい傾向でしたが、平成25年以降は30件前後で推移しており、平成27年は30件でした。

新潟県の施設数と事故件数



2 県内の事故発生原因

① 火災事故発生原因

平成27年に火災事故が4件、過去5年間では9件発生しており、発生原因別にみると、人的要因が5件、物的要因が2件、その他が2件と人的要因での火災が多く発生しています。

人的要因の内訳をみると、誤操作3件、維持管理不十分が2件となっています。

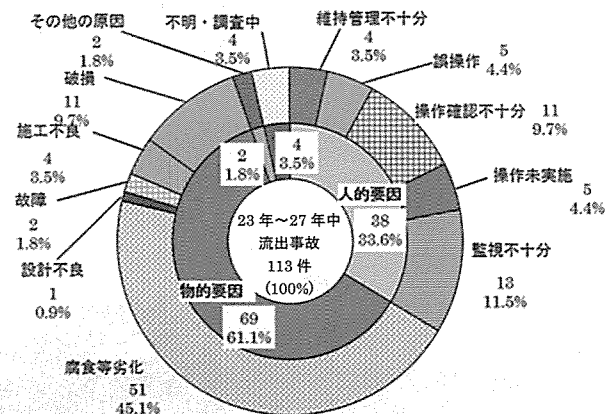
② 流出事故発生原因

平成27年に18件の流出事故が発生しており、発生原因別にみると、人的要因による事故が11件、物的要因による事故が7件です。

過去5年間では113件発生しており、発生原因別に見ると、物的要因が69件と最も多く、人的要因が38件、不明、調査中が4件、その他の要因が2件です。

物的要因の内訳をみると、腐食疲労等劣化が51件と最も多く、物的要因に占める割合は7割を超えています。また、人的要因の内訳をみると、監視不十分が13件と最も多く、次いで操作確認不十分が11件となっています。

流出事故発生原因



3 事故防止対策の推進

事故の発生は、企業にとっては大きな経済的損失となるばかりでなく、社会的信用も失いかねません。このような事故を未然に防止するためには、施設を適正に維持管理し、危険物を正しく貯蔵又は取り扱うことを徹底することが不可欠です。また、このことを達成するためには、企業全体として取り組まなければならない極めて重要なこともあります。

これらの対策は多岐にわたりますが、いくつか重点的に取り組んでいただきたいことについてまとめましたので、参考としてください。

(1) 企業全体として取り組むべきこと

- ・経営トップが保安に対する強い熱意をもって、様々な対策に取り込んで自主保安体制を確立する。
- ・不安全行動の根絶のため、手順を守らない人を黙認しない企業風土を醸成する。
- ・事故発生時の適切な対応手順を定め、これが徹底されるよう教育訓練を行う。

(2) 施設の適正な維持管理に必要なこと

- ・定期点検を確実に実施し、この結果に基づく速

やかな修繕と、計画的な設備の更新を行う。

- ・腐食疲労等劣化による流出事故対策に積極的に取り組む。(下段のコラム参照)
 - ・埋設部での流出の早期発見に有効である在庫管理を徹底するとともに、プラスチック配管等への更新を検討する。
 - ・地下タンクには内面ライニング等の「地下貯蔵タンクの流出防止対策」を実施する。
- (3) 正しい貯蔵又は取扱いに必要なこと
- ・定められた手順の理由(ノウホワイ)を理解して遵守し、見直しが必要な場合はスタッフ全員が参加して検討する。
 - ・従業員間の知識技能の伝承に努め、蓄積された安全確保のための財産を継承する。
- (4) その他
- 東日本大震災の被害を教訓に、次の対策を講じる必要があります。
- ・危険物施設の配管や、建築物、保安設備等の耐震性を再確認し、必要な対策を講じる。
 - ・危険物施設周辺の液状化の可能性等を再確認し、必要な対策を講じる。
 - ・浸水が想定される危険物施設については、人的被害防止と危険物漏えいや火災防止のための具体策を予防規程等に規定する。
 - ・実践的な訓練を通じて周知徹底を図るとともに、従業員の対応能力を高める。

新潟県では、腐食疲労等劣化による流出事故が極めて多く発生しており、この事故に対する対策が急務となっています。

新潟県 7.7件 全国 3.2件
(過去5年間の危険物施設1万件当たりの年間発生件数)

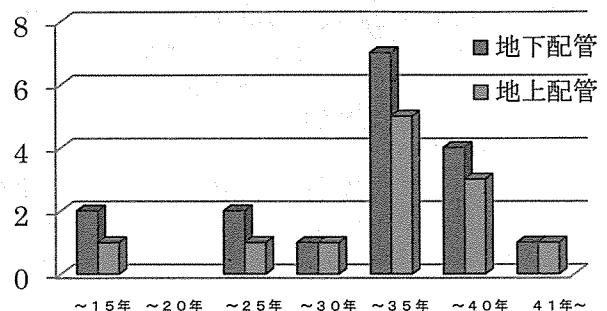
調査の結果、以下の事が解っています。

- ・漏れの発生箇所は配管が57%
- ・配管は30年を経過すると流出事故の危険性が非常に高くなる

設備は漏れるまで使うものではありません。防食措置の点検に見落としがないか、見難い所も見ていないか再確認し、先手を打った更新を行いましょう。

- ・防食テープの不備
- ・防錆塗装の確実な施工
- ・保温材を除去して行う点検等の経過年数に応じた点検の計画的な実施

新潟県での腐食疲労等劣化による流出事故発生配管の使用年数(H23~H27)



魚沼地区支会 平成28年度危険物安全週間給油取扱所消火訓練実施

新潟県危険物安全協会魚沼地区支会では、危険物安全週間に併せて、平成28年6月7日に給油取扱所において、給油中に車両火災の発生を想定した避難誘導、初期消火、通報訓練を実施しました。

初期消火訓練では実際に消火器を使用して操作方法の確認を行い、通報訓練では119番通報により消防職員との通話を体験するなど、給油取扱所の従業員にとって火災等の災害が発生した際にどのような対応をするのかを確認でき有意義な訓練となりました。

また、危険物安全週間期間中に市内給油取扱所では、安全週間PR用のぼり旗の掲示を行い、危険物の保安に対する意識啓発を推進するとともに、消防

職員による危険物施設の立入検査を実施して、施設の保安全管理を呼びかけました。



燕・弥彦地区支会 危険物安全週間中の巡回広報

新潟県危険物安全協会燕・弥彦地区支会では、危険物安全週間中の行事として、燕・弥彦総合事務組合消防本部及び各会員事業所に危険物安全週間中の垂幕を一斉掲示するとともに、6月6日には消防本部と合同で、燕市・弥彦村管内の住民及び事業所に対しての巡回広報を実施しました。

出発式では、丸山副支会長から「市村民に対し危険物の貯蔵取扱い等を再認識していただき、安心安全な地域をめざすことを目的としておりますので、しっかりと広報してください。」とあいさつがありました。その後、役員が分乗した広報用マグネットシートを取り付けた消防広報車両4台で危険物の注意喚起を促しながら管内を巡回し、危険物に対する意識の高揚及び啓発の推進、自主保安体制の確立、

事故、災害の未然防止を呼びかけました。

また、市村の広報担当者や地元新聞社等から取材を受け、記事を掲載していただき、良い広報活動ができました。



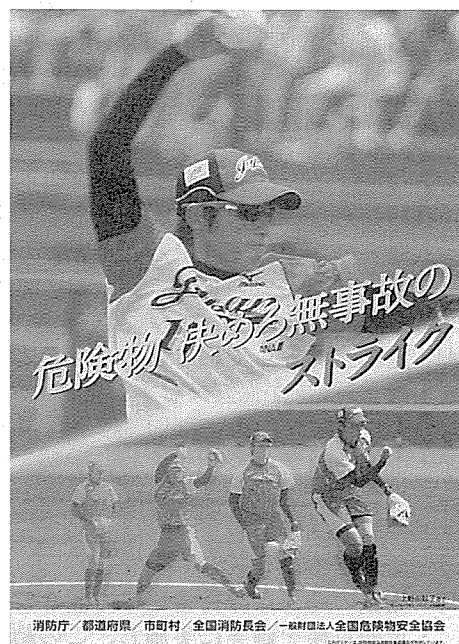
受験準備講習会に参加しませんか!!

受験準備講習会は、受講者から大変好評をいただいております。昨年度のアンケート調査によれば、93%の方から「受験勉強の参考になるよい講習会だった」との回答をいただきました。また、合格するためには講習会受講後の学習が不可欠ですが、このために必要な「試験に重要な部分」がよく解った方も83%に達しています。

講習会は限られた時間ではありますが、その中で合格するためのポイントをはっきりと示し、出題傾向を念頭においたメリハリのある講習会を行って「試験対策に徹した講習」としてまいりますので、従業員の資格取得やスキルアップに役立てていただきたいと思っております。

10月には、平日の2日間では参加が難しい方を対象とした、土曜日、日曜日の1日間で開催する講習会も開催します。(8ページの講習会のお知らせをご覧ください。)

なお、お申し込みには簡便なインターネットによる方法もありますのでご利用ください。



平成28年度危険物安全週間事業が行われました

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することにより、各事業所における自主保安体制の確立を図るため、6月5日から11日までの7日間にわたり、全国で「危険物安全週間」が実施されました。県内におきましても、下表のように各地区支会(地

区協会)で様々な取組が行われました。

来年度におきましても、これらを参考にされまして、効果的な安全週間活動を実施していただきますようお願いいたします。

地区支会(地区協会)の特徴的な活動の実施状況

地区支会名 地区協会名	広 報 活 動 の 概 要 等	事業所訪問(立入検査)状況等			
		事業所数	消 防 会 員	所要日数	
村上・岩船	・危険物施設の立入検査及び給油所への危険防止啓蒙活動を行った。	10	4名	1名	2日
三市北蒲原	・「FMしばた」でスポット放送を実施し、住民に対し危険物の保安及び安全管理の周知を行うとともに、事故未然防止のため垂幕を会員事業所入り口等に掲示。 ・消防本部と合同で立入検査を実施し、災害及び事故に対する意識の高揚、施設の適正な維持管理と保安体制の確立、定期点検の実施等の指導を行った。	107	75名	5名	7日
新 潟	・全支会員に対し「危険物安全週間運動実施中」旗の掲出を依頼した。	-	550名	-	7日
五泉東蒲原	・阿賀町情報ネットワーク(TV電話)及びテレホンサービスにより、「危険物安全週間」について住民に広報等を実施した。 ・安全週間広報用消防写真新聞「危険物安全週間号」を会員事業所に配布した。 ・広報紙、ホームページにより危険物の保管、取扱方法の啓発を行うとともに危険物施設への立ち入り検査等を行った。	13	82名	-	8日
燕・弥彦	・協会役員と消防職員が広報車4台に同乗し、住民、事業所に危険物取扱の注意点や危険物の事故防止について広報を実施した。 ・「危険物安全週間」PR用垂幕を会員事業所に掲示。	27	54名	-	5日
三 条	・地元新聞「三條新聞」に「危険物安全管理運動」の広告を掲載した。 ・3班体制で危険物施設の巡回指導を行った。	12	3名	6名	1日
加 茂	・ミス雪椿を一日消防署長とし、地区支会長以下18名で、ポケットティッシュ(標語入り)、花の種等を配布し、危険物の事故防止の呼びかけを行った。 ・幼稚園等を訪問し、園児約300名にポケットティッシュ(標語入り)、花の種を配布した。	-	-	-	-
見 附	・協会員と消防職員で、広報車両により市内巡回広報を実施した。	24	5名	6名	5日
長 岡	・会費納入通知書送付の封筒に安全週間標語を印刷して危険物安全週間を広報した。 ・新潟日報(6月5日朝刊上中越版)に危険物安全週間の広報を掲載して、事故防止の啓発を図った。	-	-	-	-
小 千 谷	・消防職員による立入検査を実施し、地下貯蔵タンクに係る流出防止対策を説明した。	12	32名	-	14日
魚 沼	・「危険物安全週間」PR用のほり旗を協会加盟の給油取扱所で掲示。 ・給油取扱所において、避難誘導、初期消火、通報訓練を実施した。	10	26名	12名	7日
十 日 町	・「危険物安全週間実施中」を表記した桃太郎旗を掲揚した。 ・協会関係者による危険物の適正な貯蔵、取扱等の啓発活動及び消防職員による立入検査。	156	115名	18名	26日
南 魚 沼	・広報活動として、危険物安全週間ポスターを非会員の施設や給油取扱所に掲示してもらった。 ・協会役員及び消防職員が危険物施設等への立入りを実施し、保安管理の指導、協会への入会案内を行った。	11	4名	12名	1日
柏 崎	・「危険物安全週間実施中」を表記したのほり旗を掲揚するとともにアピールパネルを消防本部支関に貼付しアピールした。 ・地盤面下に直接埋設された鋼製一重殻地下貯蔵タンクの立入検査を重点的に実施し、流出防止対策について説明・指導を行った。	4	4名	-	7日
上 越	・会員事業所、主要道路等に横断幕、垂れ幕および立て看板を設置するとともに、消防庁舎前の電光掲示板を利用して広報を行った。 ・会員事業所へ安全啓発文書、防災読本等を配布して危険物の保安管理の啓発を行った。 ・給油取扱所等での消防訓練及び避難訓練指導を行った。	52	168名	46名	28日
糸 魚 川	・糸魚川地区支会だよりの発行、広報啓発用品(小冊子)の配布、糸魚川駅電子掲示板(デジタルサイネージ)、デジタルテレビ文字放送及び糸魚川市有線テレビジョンを活用して広報、啓発活動を行った。 ・施設の維持管理状況確認、危険物取扱者免状及び保安講習受講確認。危険物取扱い及び施設の定期更新等安全対策指導を行った。	18	6名	-	3日
佐 渡	・ケーブルテレビの文字放送を利用して、広報を行った。 ・立入検査時に地区支会役員が同行し、危険物安全管理に関する啓発や支会事業のPRを行った。	8	11名	6名	5日

※各地区支会(地区協会)では、表に記載されている活動のほか、ポスター・パンフレット等啓発資材の配布、消防庁舎への懸垂幕の掲示、車両への広報用マグネットシートの貼付を実施していますが、共通しているので表中の記載は省略いたしました。

危険物取扱者保安講習（8月下旬以降）のお知らせ

「受講案内」及び「受講申請書」は、当協会及び各地区支会（地区協会）、消防本部（署）に用意してあります。

講習日	講習会場	講習種別			定員	受講申請 受付期間	講習会場所在り地
		一般 (その他)	給油 取扱所	コンビ ナート			
8月23日(火)	村上市民ふれあいセンター	午後			135	7/19~8/2	村上市岩船3270
8月25日(木)	新潟テクノスクール	午前			120	7/21~8/4	新潟市中央区鑑西1-11-2
		午後			120		
9月2日(金)	長岡新産管理センター	午前	午後		各108	7/29~8/12	長岡市新産2-1-4
9月6日(火)	糸魚川建設会館	午前			84	8/2~8/18	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
9月9日(金)	柏崎エネルギーホール	午前			120	8/5~8/19	柏崎市駅前2-2-30
		午後			120		
9月12日(月)	南魚沼市 ふれ愛支援センター	午後			150	8/8~8/22	南魚沼市坂戸399-1
9月14日(水)	上越人材ハイスクール	午後			120	8/10~8/24	上越市高土町3-1-15
9月15日(木)			午前	午後	各120		
10月4日(火)	新潟テクノスクール	午前		午後	各120	8/30~9/13	新潟市中央区鑑西1-11-2
10月26日(水)	小千谷市総合福祉センター サンラックおぢや	午後			150	9/21~10/5	小千谷市大字桜町5140
11月2日(水)	新発田市生涯学習センター	午後			300	9/28~10/12	新発田市中央町5-8-47
11月8日(火)	新潟テクノスクール	午前	午後		各120	10/4~10/18	新潟市中央区鑑西1-11-2
11月10日(木)	長岡新産管理センター	午前			108	10/6~10/20	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
11月18日(金)	燕三条地場産センター メッセピア	午後			150	10/14~10/28	三条市須頃1-17
11月22日(火)	上越人材ハイスクール	午前		午後	各120	10/18~11/1	上越市高土町3-1-15
2月14日(火)	新潟テクノスクール	午前			120	1/10~1/24	新潟市中央区鑑西1-11-2
		午後			120		
2月15日(水)		午前		午後	各120		

<午前の場合> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分
 <午後の場合> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

合格への近道

危険物取扱者乙種第四類試験受験準備講習（10～3月）のお知らせ

「講習案内」、「受講申込書」は、当協会、各地区支会（消防本部・署）に用意してあります。
 また、お申し込みが簡単なインターネットによる方法もあります。協会ホームページをご覧ください。

講習日	講習会場	定員	申込受付期間	講習会場所在り地
10月2日(日)★1日講習	新潟ユニゾンプラザ	100	9月2日～9月23日	新潟市中央区上所2-2-2
10月12日(水)～13日(木)	長岡新産管理センター	80	9月14日～10月5日	長岡市新産2-1-4
10月15日(土)★1日講習	上越市市民プラザ	100	9月16日～10月7日	上越市土橋1914-3
1月17日(火)～18日(水)	長岡新産管理センター	80	12月20日～1月10日	長岡市新産2-1-4
1月23日(月)～24日(火)	新潟テクノスクール	100	12月26日～1月16日	新潟市中央区鑑西1-11-2
1月24日(火)～25日(水)	上越市市民プラザ	100	12月26日～1月17日	上越市土橋1914-3

<講習時間> 2日間講習の場合：1日目午後1時30分から午後4時30分まで（物理/化学）
 ：2日目午前9時30分から午後4時30分まで（燃焼消火/性質等・関係法令）
 1日講習の場合：午前9時30分から午後6時30分まで（物理/化学・燃焼消火/性質等・関係法令）
 （1日講習は、10月2日、10月15日のみです。）

**保安講習、受験準備講習とも、定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。
 協会のホームページのインフォメーションをご覧ください。**

平成27年度危険物取扱者試験（10～3月）

（一財）消防試験研究センター新潟県支部

「試験案内」、「受験申込書」は、県内の消防本部（署）及び（一財）消防試験研究センター新潟県支部に用意してあります。

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成28年 11月20日(日)	10月2日(日) ～10月17日(月)	10月5日(水) ～10月20日(木)	全種類	新潟市、長岡市、上越市
平成29年 3月4日(土)	1月8日(日) ～1月22日(日)	1月11日(水) ～1月25日(水)	全種類	新潟市、長岡市、上越市